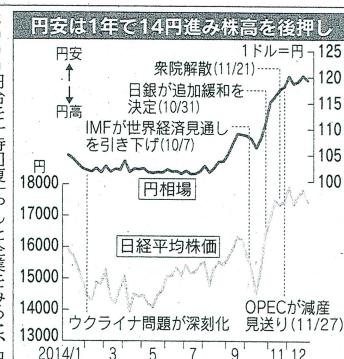


日経平均3年連続上昇

2014年最後の取引となった30日の株式市場で、日経平均株価の終値は13年末に比べて7%（-1159円）高い1万7450円だった。年間ベースでは3年連続の上昇で、03～06年以来の統一した30日の株式市場で、日経平均株価の終値は13年末に比べて7%（-1159円）高い1万7450円だった。年間ベースでは3年連続の上昇るなど節目の水準が相次いだ（関連記事3面）。

今年の日経平均は米利上げを巡る思惑などで上げ下げを繰り返した。大最高値の値幅は約21円で、金融危機で潤沢した08年以来6年ぶりに20円超えた。日経平均が同様に上昇したのは10月末。6年ぶりの安値をつけ、長期金利も最低を更新するなど、年間の円の最安値と最高値の値幅は約21円で、金融危機で潤沢した08年以来6年ぶりに20円超えた。日経平均が同様に上昇したのは10月末。6年ぶりの安値をつけ、長期金利も最低を更新するなど、年間の円の最安値と最高値の値幅は約21円で、金融危機で潤沢した08年以来6年ぶりに20円超えた。日経平均が同様に上昇したのは10月末。

14 14 8 



業績好調企業が時価総額を増やした			
順位	社名	14年末の時価総額	増加率%
1	オリエンタルランド	25,231	83
2	セイコーベンソン	10,170	80
3	シスマックス	11,198	74
4	シマノ	14,510	73
5	明治ホールディングス	8,405	63
6	東京エレクトロン	16,654	60
7	三菱自動車	10,918	55
8	ヤマハ発動機	8,543	55
9	日東電工	11,768	53
10	日本電産	22,779	52

(注)東証1部、昨年末の時価総額500億円

リピーター客を呼び込むの長期金利が0・3%と作戦が成功している。上場企業の収益は15年3月期に最高益をつかがうまでに回復してきた。市場の目玉突破は海外相場の自立だ。1万8000ドルを超えた米ダウ工業株30種平均やドイツ株式指数は最高値で推移し、中国の上海総合指数も約5年ぶりの水準を回復した。原油安が米欧など消費国にもたらすラスマ面が注目された。並行して安全資産である債券も買われた。日本が増す」と指摘する。